学校番号	T0110

平成３１年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	地理Ａ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	高等学校　新地理Ａ（４６帝国地Ａ－３０８） 高等地図帳　改訂版（１３０二宮地図－３１４）						
副教材等	なし						

科目の目標	地理Ａでは、世界諸地域の生活・文化及び地球的課題について、地域性や歴史的背景を踏まえて考察し、現代世界の地理的認識を深めるとともに、地理的技能及び地理的な見方や考え方を身に付けることを目標にしています。 具体的には、様々な世界地図の読図などを通して、地理的技能を身に付けたり、世界の生活・文化に関する地理的事象について、主体的な学習を通じて地理的な見方や考え方ができるようになることを目標にしています。			
担当者からのメッセージ	（1）授業では、教科書・地図帳・ノートのすべてを使って、学習します。 （2）資料の読み取りや考察などを行なうことがあります。主体的に説明したり、論述したり、意見交換したりする姿勢が重要です。 （3）地図帳や統計などを使う作業では、蛍光ペン等でマークをすることがあります。各自で用意してください。			
評価の観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
評価規準	現代世界の地理的な諸課題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究するとともに、国際社会に主体的に生きる主権者としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを地域性や歴史的背景、日常生活との関連を踏まえて多面的・多角的に考察し、過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	現代世界の地理的な諸課題についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
成績評価方法	平常の授業に取り組む姿勢、定期考査や小テストの結果、課題などの提出物の状況を、a【関】関心・意欲・態度、b【思】思考・判断・表現、c【技】資料活用の技能、d【知】知識・理解の観点で総合的に判断し評価します。			
留意事項等	現代世界の地理的認識を深めるために、授業以外でもニュースや新聞、インターネットなどを通して世界の出来事などに関心を持つことが大切です。			

学期	単元・学習内容	主な評価の観点 a	b	c	d	単元（題材）の評価規準	評価方法
前期	地球上の位置と国家のまとめ グローバル化が進む世界のまとめ	○	○	○	○	a：緯度、経度、時差などがもたらす影響について生活と結んで興味を持つ b：国境の形態や性格を理解し、日本が抱える領土問題について考察する。 c：地図の特徴と利用方法を理解する。 d：多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察
	生活に影響を与える環境条件とは 人々の生活と地形のまとめ	○	○	○	○	a：地形の種類や特徴を自らの生活と結んで関心を持つ。 b：地形を形成する内的営力と外的営力について、その原動力と作用を理解する。 c：気候のグラフなど教科書の図表の読み方を習得する d：多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察

後期	人々の生活と気候のまとめ 人々の生活と産業のまとめ	○	○	○	○	a: 気候の種類や特徴を自らの生活や産業と結んで関心を持つ。 b: 気候の特徴と農業・工業との関わりについて考察する。 c: 気候のグラフなど教科書の図表の読み方を習得する d: 各気候区にはどのような植生や土壌がみられ、そこで暮らす人々の生活はどのようなものかについて理解する。また農業の発達と自給的農業・商業的農業・企業的農業や、 さまざまな製品をつくる工業の発達と種類について理解する。	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察
	人々の生活と文化 世界の諸地域の生活・文化のまとめ	○	○	○	○	a: 三大宗教など世界各地の特徴に興味を持つ。 b: 生活と宗教や言語などの関わりについて理解する。 c:視聴覚教材などから世界各地の特徴をつかむ d: 各地域の人々の生活や地域が抱える課題について考察する。	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察
	地球的課題と私たち	○	○	○	○	a: さまざまな地球的課題について関心を持つ。 b: 単元の基本的な事がらを理解し、それらの知識を身につけている。 c: 有用な情報を選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d: さまざまな地球的課題について、その背景や原因、解決方法について考察する。	定期考査 授業プリント レポート 論述 態度観察